

# 夢窓幼稚園通信第83号

2022年2月28日

たくさんのお雪が降った今年の冬も、いよいよ明日からの3月にバトンタッチです。

まだまだ冷たい風が吹くときもあるでしょうが、毎日日射しが強くなり暖かい春本番へと向かっていくことでしょう。

新しい季節に私たち一人ひとり誰でもが、人生の中でこれまで経験したことのない「今から次の未来に向かってのまた新しい一步を踏み出すことでしょう。

それぞれの願いと希望に向かって、ひとつひとつ歩みが少しだけ納得のいくものであるために、今日をよろこびいっぱい心をこめて過したいものですわ。

一方、希望の春を迎えるはずの昨今、かなり深刻な社会の状況に憤りと怒りと悲しみを感じて過ごしている私たちです。人間は一人ひとり讃美に値する素晴らしい存在ですが、立場や集団を背景に権力をもつたときに、純人間的な立ち位置をいとも簡単に放棄し、悪魔的な考え方を疑うことなく主張したり、人の命の尊さを省みない意志を発動できてしまつ…どうしようもない存在になってしまったのを目あたりにしています。

国家というのは、本来国民一人ひとりが例外なく平等でなくてはいけない「法」を管理する役割を担うのであって、経済生活や精神生活を統制したり方向づけたりする機関ではないはずです。

決して遠い国の問題としてではなく、私たちの「精神の自由」と「経済生活における友愛」へ向かおうとする意志を失うことがないように、近現代の社会意識の光と影の課題を、先ず自らに問いたいと思います。

また、身近な園の生活の中で、この数日いくつかのケガが発生してしまいました。

あらためて安心安全に子どもたちが遊せるために、環境を見直し必要があれば改善していくと共に、私たちの安全意識(危機管理意識)を確認し合う予定です。

何かマイナスに見える出来事が生じた時に、本当のマイナスにしないために、次に向けての対応をできる限り適切にできるように、仕切り直しをしたいと思います。

昨日 每年この時期にやってくる キジバトのつがいの2羽が  
桜の枝に止まっているのを見ました。

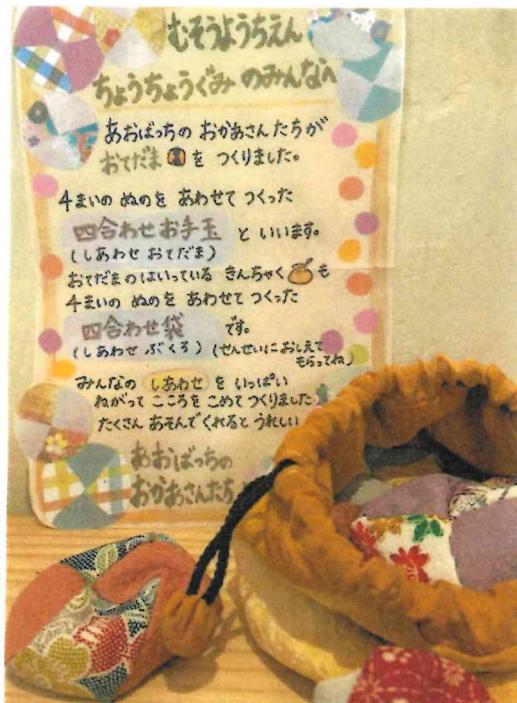
そして今日も 朝から ポポロッポー ポポロッポーという啼き声が  
聞こえてきました。

また今年も 卵を産んで、ひなが生まれ 桜の花と共に春の  
よろこびを表現してくれることを 楽しみにしたいと思います。

青バッヂさんが新しい「ねんせい」として 年園に向けて盛り沢山の  
作業に取り組んでいます。

黄・赤・ピンクの子どもたちの 進級への準備も間もなく始まります。  
コロナで待機の方々も 元気に戻ってれますように。ケガも痛みが  
とれて一日も早く回復できますように。  
一人ひとりがうれしく 春を迎えることを祈っています。

園長 升光泰雄



青バッヂ ソフィアの皆さんが  
思いを寄せ合って  
おじゅみを たくさんお家で  
作り ...  
先日届けて下さいました。  
“しあわせ お手玉” “しあわせ袋”  
ほんとうに 素敵な名前です。  
25日(金) 年長児の集まりで  
各クラスの子どもたちが預かり  
クラスの部屋に手渡されました。  
とても とても うれしい  
出来事でした！